

# 統計

一九一五年加奈陀鑛物產出狀況 加奈陀天產利源の一なる鑛產物は、歐洲開戦の當初事業界不安の影響を受け渺ながらさる打撃を受けしも、時日の經過並に戰爭の發展に伴ひ銅、亜鉛、ニッケル、鐵等の需要増加、價格の騰貴に刺戟せられ近來產出額著しく増加し事業頗る好況を呈し來れり、同國政府の調査によると一九一五年中の各鑛物產出總額は一億三千八百五十一萬三千七百五十弗にして、内金屬鑛物七千七百四萬六千八十二弗、非金屬鑛物四千二百七十五萬五千五百九十四弗、並に建築材鑛產物千八百七十一萬二千七十四弗なり、之れを一昨年の產出額に比するに總產額に於て九百六十五萬六百餘弗の增加を示し、各鑛物の產出狀況は金屬鑛物に顯著なる増加を見たるに對し建築用材は概して頽勢の傾きありしは、上述の如く時局の結果各金屬の價格上騰せるに反し建築用材は國內都市の建築工事一時中止の姿なるを以て之れに對する需要減退せるに依ること云ふを俟たず、左に一九一五年中の各鑛物產出高を掲ぐ。(通商公報)

金屬鑛物	產出量	價格
安質母尼	九六一、〇四〇 <small>封度</small>	一九二、二〇八
コバルト(メタリック)	一一一、六一〇	五〇二、三八八
コバルト(酸化)	三七九、二一九	

ニッケル(メタリック)	五五、三二五	四二、一九三
ニッケル(酸化)	二〇〇、〇三二	一七、七二六、三〇七
銅	九一六、〇七六	一八、九三六、九七一
銑鐵	一五八、五九八	一、七四〇、八〇八
鐵鑛	九三、四四四	一八七、六八二
鉛	四五、三七七、〇六五	二、五四一、一六六
硫水鉛鑛	二八、六〇〇	二八、四六〇
ニッケル(一封度三十仙)	六八、〇七七、八二三	二〇、四二三、三四八
銀	二八、四〇一、七三五	一四、〇八八、三九七
亞鉛鑛石	一五、五五三	六三六、二〇四
非金屬鑛物	七七、〇四六、〇八二	一一〇八
金屬鑛物計		
陽起石	二三〇	二、四二〇
砒石(白)	二、二九一	一四一、八三〇
石綿	一一三、一一五	三、四九一、四五〇
石綿質鑛	二五、七〇〇	二一、八一九
クローム鐵鑛	一一、四八六	一六二、六一八
石炭	一三、二〇九、三七一	三一、九五七、七五七
鋼石	二六二	三三、一三八
長石	一五、四三三	五九、一二四
黑鉛	二、六一〇	一二一、〇二三
砥石	二、五八〇	三五、七六八
石膏	四七〇、三三五	八四九、九二八
菱苦土鑛	一四、七七九	一二六、五三五
満倦	四七	五、四六〇
雲母	五五〇	八一、〇二一
硫酸重土	六、二四八	六、八七五
赭石	一八、三一九、七一〇	四八、三五三
ミネラル水		一七八、七九六
自然瓦斯		三、三〇〇、八二五

泥炭	三〇〇、五〇	一、〇五〇
石油	二一五、四六四	三〇〇、五七二
磷酸鹽	二一七	二、五〇二
黃鐵礦	二九六、九一〇	一、〇二八、六七八
矽石	一二七、一〇八	二〇五、一五三
岩鹽	一一九、九〇〇	六〇〇、二二六
滑石	一一、八八五	四〇、五五四
碎砂	三一七	一二、一二九
非金屬礦物計	四二、七五五、五九四	十九萬三千三百五噸なるに對し、輸入礦石使用高は百四十六萬三千六百餘噸に上れり、工場はオンタリオ州に於てはアルゴマ鐵工場、加奈陀フアーネス會社、スタンダードアイアン會社、スチールコンパニイオカナダ會社等は最も盛大にして、ノバスコシヤ州のドミニオン、アイアン、アンドスチール會社、スチールアンドコール會社又有名なり。

鐵礦 當領鐵礦の產出は從來東部加奈陀、殊にオンタリオ州及ノバスコシヤ州大部を占め太平洋沿岸英領哥倫比亞州の如き鐵礦脈には乏しからざるも未だ記述するに足るものなし、單に鐵礦としての產出額は昨年中三十九萬八千百十二噸にして之れを價格に見積り七十七萬四千四百二十七弗程なるも、一昨年に比し噸數に於て十五萬三千餘噸、價格に於て二十三萬二千餘噸を増加せり、粗礦の種類は赤鐵礦二十萬五千九百八十九噸、菱鐵礦十三萬二千九百六噸及磁鐵礦五萬九千二百十七噸にして粗礦の平均價格は一昨年と略同一なり、上述產出高の内製鐵用として當國製鐵所に運輸せられたる高は三十萬四千六百六十八噸にして、殘り九萬三千四百四十四噸は米國製鐵所に輸出せられたり、關稅省の統計によるに昨年當領輸入鐵礦は百四十九萬九千七百二十二噸(主としてニューファウンドランドより輸入す)なりと稱するか故に、當領產鐵石は未だ需要額を満すに足らざるを知るへし。

銑鐵 當國產出額は、昨年九十一萬三千七百十九米噸其價格千百五十九萬二千八百十九弗にして一昨年に比し是亦十三萬餘噸を増加せり、銑鐵製造には主としてコーエクを使用せらるゝ鐵礦は大部分輸入礦石によるものなること前述せるが如くにして、昨年銑鐵製造に使用せる當國礦石は二十九萬三千三百五噸なるに對し、輸入礦石使用高は百四十六萬三千六百餘噸に上れり、工場はオンタリオ州に於てはアルゴマ鐵工場、加奈陀フアーネス會社、スタンダードアイアン會社、スチールコンパニイオカナダ會社等は最も盛大にして、ノバスコシヤ州のドミニオン、アイアン、アンドスチール會社、スチールアンドコール會社又有名なり。

州 名	噸 數	價 格	平均相場
ノバスコシヤ	四二〇、二一九	五、四六二、八四七	一三、〇〇
オンタリオ	四九三、五〇〇	六、一二九、九七二	一二、四二
計	九一三、七一九	一一、五九二、八一九	一二、六九

銑鐵の外電氣製鐵所に於ける鐵合金(Ferro. alloys)の產出額七十五萬三千四百六弗に上り、相場は銑鐵一米噸十三弗三十八仙なるに對し之れは、一米噸五十弗八十一仙を唱へ、オンタリオ州ウェーランドに於けるエレクトル、メタル會社の如き戰爭の影響を受け盛に之れが產出に從事せり。

鋼鐵 產出額は昨年中百二萬三百三十五米噸にして内五千六百二十六噸は電氣製鋼所の產出に係れり、鋼鐵の產出高も一昨年に比し略二十萬噸方の増加を見たり。

◎印度產滿僥鑛の輸出 一九一六年四月より六月に至る三ヶ月間に印度より輸出されたる滿僥鑛は一五三、二〇九噸にして其の價格九八八、八一五弗なり（昨年同期間に於ける輸出高は五六、〇七二噸にして其價格三三一、九三八弗）、而してこれをその仕向地別とすれば次の如し。

英 國 向	一二一、〇一三噸	（一九一五年には四七、一二二噸）
佛 國 向	一二、三〇〇噸	（一九一五年には四、〇〇〇噸）
米 國 向	七、三〇〇噸	（一九一五年には四、九五〇噸）
	一二、三二六噸	（一九一五年にはなし）

◎七月中に於ける獨逸の鋼產額 一九一六年七月中に於ける獨逸の鋼產額は一、三六六、一〇七噸にして毎日の產額五一、五四三噸の率なり。而してこの七月中の產額は戰時中の記録一日五四、九九〇噸（即ち六月中の一、三一九、七六二噸）に次ぐものなり。戰時中に於ける一ヶ月の產出額は五月の一、四二二、一三七噸を以て最とす。七月中の產額を分離せば次の如し。

ベッセマー鋼	六五五、六七五噸
平 爐 鋼	五七九、〇八三噸
電 氣 鋼	一〇七、二七七噸
坩堝鑄物	九、六二〇噸
鋼	一四、四五二噸

總產額の大半即ち七七二、三四〇噸はリネラント・ウエストファリア地方より、一二四、五八四噸はアルサス・ローレンより產せるものなり。

◎英國に於ける鐵及び鋼の輸出 一九一六年八月中に於ける鐵、鋼及び是等の製品產額は五、九八六、二九二封度にて一九一五年八月の產額を超過する事二、四五二、五六八封度、一九一四年八月のそれを超過する事三、六九〇、九四一封度なり。鐵鑛、屑鐵、及び鋼の輸入額も一、二六六、五八五封度に上り一九一五年八月中の輸入額を超ゆる五九七、二四〇封度なり。

◎米國銑鐵の輸出額新記録 米國に於ける銑鐵の輸出高は今や最高に達し新記録を作れり。一九一六年の前六ヶ月間の輸出高は一八四、四一七噸にして一ヶ月平均二四、七四五噸なりき（而して本年六月三十日を以て終る會計年度内の總額は二八六、七二八噸即ち一ヶ月平均二三、九九四噸なり）。本年七月中の總額は二八、七一八噸にして、一九一三年の二七七、六四八噸一ヶ月平均二三、一三七噸を超ゆ。一九一五年一ヶ月平均高は一八、七〇八噸、一九一年一ヶ月平均高は僅かに九、五三五噸に過ぎず。

◎米國に於ける屑鐵及鋼の輸出 米國より輸出する屑鐵及び鋼の額は今や頗る増加し一九一六年六月末に至る會計年度の總計二八六、七二八噸にして一ヶ月平均二三、八九四噸となれりこれを過去に比較する時は次に示すか如し。

一九一六年（六月三十日に終る會計年度）	二三、八九四噸
一九一五年	六、六一三噸
一九一四年	二、七六一噸
	八、一一九噸

一九一三年

本年五月に於ける輸出額は二四、八八九噸、六月は一五、八六七噸、七月に至りては四、七八八噸に減せり。

◎記録を破れる米國鍛力鉢の輸出 米國の鍛力鉢輸出は從來のレコードを破れり。一九一六年の前六ヶ月間の輸出額は總計一二二、八三九噸、一ヶ月平均二〇、四七三噸に上れり。本年一月の一、一七七噸より漸次增加し來り六月には二九、七五〇噸に達したり。戰爭前に於ける輸出の最高レコードは一九一三年の一ヶ月平均四、八一七噸なりき。次表は政府當局の調査によるものなり。

	總 計	一ヶ月平均
一九一六年の前半年	一二二、八三九噸	二〇、四七三噸
一九一六年六月末に至る會計年度	二三〇、四七二噸	一九、二〇六噸
一九一五年	同 同 同 同	八〇、〇〇九噸
一九一四年	同 同 同 同	四七、二七六噸

これによつて明かなる如く一九一六年前半年の平均は戰時のレコードたる昨年の會計年度に於ける一九、二〇六噸を超過せり。因に七月中に於ける輸出高は一八、七四二噸なり。

一九一四年及び一九一六年六月に至る會計年度中の鍛力鉢輸出先の主なるものを擧くれば次の如し（當局の調査による）。

英 國	無 し	一九一六年
加 奈 陀	三、三一〇噸	二九、七八三噸
アルゼンチン	一、二八二噸	五二、三九四噸
アラジル	八〇五噸	一八、七一七噸
支 那	四、〇一二噸	一一、八四八噸
		一五、八〇七噸



月中の三、六二四、四一一弗に對し本年八月中は八、一三四、四七三弗なり。總ての機械類輸出高の八ヶ月總計は昨年の同期間に於ける七九、三九六、一一三弗に對し、本年は一四八、〇六一、八三二弗なり。

一九一六年八月中の鐵鋼輸入高は三三、三五八噸にして昨年八月に於けるものは二七、五六〇噸なり。是等輸入高は近時漸く増加し來れ共猶平年の記錄に及はす。

本年八月末に至る八ヶ月間の總輸入額は一七七、四六六噸にして昨年の同期間に於けるものは一五二、一八三噸なり。次表は一九一六年八月中及び八月末に至る輸入額を昨年のそれに比したるものなり。

	八月中		八ヶ月間	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
満 僮 鐵	一	一	八五五	八五五
矽 素 鐵	一	一	四六六	四六六
其 他 の 銑 鐵	一〇、八五	一一、六四	五八三	五八三
棒 屑 鐵	三七五	七一四	一、一五	一、一五
建築用鐵及鋼	二七〇	三七五	一、一五	一、一五
鋼片(合金を除く)	八一	一〇四	五七五	五七五
其 他 の 鋼 片	六八	一二一	一、一五	一、一五
軌 條	一〇八、一〇	一〇九、一〇	四〇六	四〇六
鐵 板 及 鋼 板	二五	三三	一、一五	一、一五
鐵 力 鋼	一六	一〇五	三、三五	三、三五
線 計	一九〇	二三五	一、一五	一、一五
合 計	一九〇	二三五	一、一五	一、一五

●九月中に於ける米國の銑鐵產額 米國に於ける九月中の銑鐵產額は殆んど八月のそれに相等しく、三、二〇一、三六六噸にて一日平均一〇七四五噸なり。(八月中の產出額は三、二〇三、七一三噸にして一日平均一〇三、三四六噸)。十月一日現在の鎔鑄爐運轉數は三二八臺にして一日の能力一〇六、五七八噸なり。而して九月一日の運轉數は三一九臺にして一日の能力一〇四、五〇二噸なりき。

毎日の製產率は一九一五年九月より本年九月に至る骸炭及ひ無煙炭銑鐵每

日の製產率は次の如し。

	New York	Buffalo	地 方	全 數	操業數	毎日的能力	操業數	毎日的能力
其他の組育州	一九	一九	一九	一七	一	五、七四七	一六	一五、三九五
New Jersey	六	六	Pennsylvania	一五	三	五、七八三	一三	五五〇
Schuykill Valley	一一〇	一一〇	Lehigh Valley	一一	一	一一〇	一一〇	一一〇
Lower Susquehanna	六	六	Spiegel	二	一	一一〇九	一二	一一〇六
Lebanon Valley	八	八		一	一	三、〇四九	一〇	二、八五五
Ferro & Spiegel	一	一		一	一	一、三一二	一	一、三七〇
Pittsburgh District	五三	五二		一	一	七三二	一	八三五
Ferro	三	三		一	一	八六	九〇	九〇
Shenango Valley	一九	一九		一	一	一一、八三九	四九	一一、八二五
	六、一七六	四〇八		一	一	一一、八二五	四〇五	五、九四四

Western Pa.	一一四	一一〇	六〇一四	一一〇	五、八四一
Ferro & Spiegel	三	二	一一〇一	一	一〇〇
Maryland	四	四	一、六〇〇	三	一、一三〇
Ferro	一	一	一	一	九一
Wheeling District	一四	一四	四、四九九	一三	三、九八二
Ohio:					
Muhoning Val.	一一五	一一五	一、一〇三一	一一四	一〇、四四五
Central & Northern	一四	一一一	八、二二二	一一二	八、五五一
Hock Val. and					
Hang'g Rock	一五	一一	一、六〇八	一〇	一、五五〇
Ill. and Ind.	三五	三三	一三、五六三	三一	一四、八一
Ferro	二	一	八四	一	六〇
Michigan Wis.					
and Minn.	一二	一〇	一、八三四	二、三七八	
Colo. and Mo.	六	一	一、三二五	一、二七一	
Ferro					
The Sout:					
Virginia	一八	九	一、一三一	九	
Kentucky	五	三	一、一三三		
Alabama	三七	二八	四五八	三	
Ferro	一	一	七、二五八	二九	
Tennessee	一五	一〇	五九	一	
合 計	三九四	三二八	九五七	九	
				九七〇	
九月一日より十月一日までの間に運轉せる爐の中には組育に於けるバツフアローの一基、レハイ、ヴァレー、サウコンの一基、エドガード、トムソンの一基、ルーシーの一基、エリザの基、ペレーヤの一基、ゲーリーの一基及びザックの基を含む。					
去月(九月)操業を中止せるものの中にはサウコンの一基、バルマートンの一基、レバノンの一基、及びレンの一基あり。					
産額の地方別――次に示す表は舷炭及び無煙炭爐の九月中及び六、七、八月に於ける總ての産額を地方別にしたるものなり。					

	六月(卅十日)	七月(廿一日)	八月(廿一日)	九月(三十日)
New York	RO'ING	133'11"	133'11"	133'11"
New Jersey	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Lehigh Valley	111'8"	103'4"	98'3"	103'4"
Schuylkill Valley	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Lower Susquehanna and Lebanon Valley	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Pittsburgh 地 方	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Shenandoah Valley	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Western Pennsylvania	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Maryland, Virginia and Kentucky	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Weeling 地 方	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Mahoning Valley	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Central & Northern Ohio	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Hocking Valley and Hanging Rock	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Chicago 地 方	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Mich. Minn. Mo. Wis and Col	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
Alabama	103'0"OK	111'11"OK	113'0"OK	113'0"OK
Tennessee	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
合 計	133'11"	133'11"	133'11"	133'11"
毎月の製産額	一、二、三ス、スチール、ローラー、及他の會社の報告によれば毎月次表の加く製鋼用鐵及びスビーゲルアイゼン及び満鐵を產せり。是等最後のものは別には示したれ共全產額中の列にも含まれ居	一、二、三ス、スチール、ローラー、及他の會	一、二、三ス、スチール、ローラー、及他の會	一、二、三ス、スチール、ローラー、及他の會

九月一日より十月一日までの間に運轉せる爐の中には紐育に於けるバツフアローの一基、レハイ、ヴァレー、サウコンの一基、エドガー、トムソンの一基、ルーシーの一基、エリザの一基、ベレーヤの一基、ゲーリーの一基及びザックの一基を含む。

去月(九月)操業を中止せるものの中にはサウコンの一基、パルマートンの一基、レバノンの一基、及びレンの一基あり。

一基、レバノンの一基、及びレンの一基あり。  
産額の地方別――次に示す表は駿炭及び無煙炭爐の九月中及び六、七、八月  
に於ける總ての產額を地方別にしたるものなり。

## 鐵と鋼 第貳年 第拾壹號

一一一四

八月	一四五〇、〇五	一、一〇一、八	二、三、三、三	一、一、五、七	二、七、四、三	三、一、三、六
九月	一、三九〇、三三	二、二九、三三	二、一〇九、七〇	一、三、七、六	三、一、五、九	三、五、四、五
十月	一、三七一、八〇	二、二八、二四	—	—	一、七、四、五	三、三、九、三
十一月	一、〇五、一、九	二、一、五、四、九	—	—	二、二、九、七	二、六、四
十二月	一、〇四、八、三	二、一、六、三、〇、九、四	—	—	三、〇、七、三	三、五、〇、九

次表は製產額の記錄を示す。

一九一二年一月一日より米國に於ける駁炭及無煙炭銑鐵の產額

一九一二年一九一三年一九一四年一九一五年一九一六年

一月	一、一〇一、九、二	二、七、九、九	一、一、八、五、〇、五、四	一、一、九、一、四、三	一、一、九、一、五、五	一、一、九、一、六、六
二月	一、一〇〇、八、五	二、七、六、三、七	一、一、八、六、七、〇	一、一、七、四、七、一	一、一、八、七、三、三	一、一、九、一、七、一
三月	一、一〇五、三、八	二、七、三、五、三	一、一、七、七、六、七	一、一、六、三、八、四	一、一、七、七、六、六	一、一、九、一、八、一
四月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
五月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
六月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
七月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
八月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
九月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
十月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
十一月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
十二月	一、一〇九、七、四	二、七、三、七、七	一、一、七、七、七、七	一、一、六、六、九、七	一、一、七、七、七、六	一、一、九、一、九、一
總計	三、一、三、四、〇	三、〇、九、四、一	三、〇、九、四、一	三、〇、九、四、一	三、〇、九、四、一	三、〇、九、四、一

(以上 The Iron Age, Oct. 5th, 1916)

◎獨逸に於ける鋼の積出減少 八月中獨逸製鋼組合より積出したる鋼は二五〇、八三一噸にして本年中の最低額を示せり。七月中の積出は二八二、八七五噸、一九一五年八月中は二五〇、〇八〇噸、一九一四年八月中は九四、九八四噸なりき。本年八月中の積出高を内譯すれば次の如し。

半 製 鋼	鐵 道 材 料	型 鋼
七三、二〇八噸	九四、九七七噸	八二、六四六噸

◎英國に於ける鋼の輸出高 八月中英國より輸出せられたる鐵及び鋼は主として同盟國へ供給したものにして總計三一九、九二八噸なりき、

(但し鐵鑛を除き屑鐵を含む)。政府當局にて極力輸出を禁したるにも不拘八月に於ける輸出高は本年の第二位にあり本年五月の三九五、七五〇噸に次り。本年一月より八月に至る八ヶ月間の平均は月三一二、七五五噸にして一九一五年の月平均二七〇、八五八噸を遙に凌駕せり。

八月中の銑鐵輸出高は七月の六二、九一七噸に對し四三、一八三噸にして九月一日に至る總計は三四六、八四九噸となれり(昨年九月一日に至る總計は一九一、七五七噸なりき)而して輸出先の主なるものは佛蘭西及び伊太利とす。

八月中滿鐵鐵の輸出は一九一五年八月の三〇、〇〇〇噸に對し五二〇、〇〇〇噸なり。木年九月一日に至る、總計は三二七、〇〇〇噸にして昨年九月一日に至る一二六、〇〇〇噸に比し異常の増加を示せり。

棒銑の八月中に於ける輸出高は五九、六三七噸(内五〇、二八八噸は佛國へ輸出)にして昨年八月は三九、六六八噸なりき。本年九月一日に至る總計は四六六、五八七噸にして、昨年は三〇七、七九四噸なりき。而して前者の内三九五、八二六噸は佛國に供給せるものなり。

八月中軌條の輸出高は僅かに一、九八三噸にして昨年八月の三二、九六二噸に比し其減少度の甚しきに驚く。本年九月一日迄の輸出總高は三三、七四六噸にして一九一五年同期間の一九〇、一五一噸の僅かに六分の一に過ぎず。亞鉛引鉄の輸出も頗る減少し八、二三八噸にして昨年八月の一九、五八〇噸の僅かに半數に當る。本年一月より八月末に至る總計は一〇三、四五四噸なり(昨年同期間にも二一八、一二九噸)。

鍛力鉄の輸出は殆んど最近に變化なく昨年八月の三八、一七四噸に對し本年八月は三四、一二四噸なり。本年九月一日に至る總計は二六〇、八九六噸にして昨年同期間は二〇六、四三五噸なりき。而して前者の内五五、五九五噸は佛蘭西へ供給せり。

八月中に於ける鐵及び鋼の輸入高は七二、〇三三噸にして七月の八三、一八六噸、昨年八月の一〇八、四八六噸に比し異常の減少を見たり(鐵鑛は除き、屑鐵は含む)。本年のレコードは五月の八六、三〇三噸とす。

八月中に輸入せられたるブルーム、ビレット及びスラップは二〇、一〇四噸にして七月中の一〇、八九八噸に比し増加せるも昨年八月の四六、九一八噸に比すればその半にも及ばず。本年九月一日に至る總計は一〇六、九九八噸にして昨年同期間の三一六、八七六噸の僅かに三分の一に當る。本年九月

一日に至る總計の内八五、八八九噸は米國より輸入せるものなり。

八月中の鐵鑄の輸入は七四一、六一二頓にして昨年八月の五七二、三七八頓に比し甚しく増加せるを見る。本年九月一日に至る總計は四、八七九、一二一頓にして、昨年同期間は四、二三九、一六七頓なりき。

本年前八ヶ月間に於ける輸出總額は四〇、八〇四、二四三磅なりきといふ。因に昨年同期間の輸出總額は二五、六七一、一五三磅なりき。

●米國の鋼板輸出の状況　米國に於ける鋼板の輸出は最近に至り非  
常の増加を示せり。本年九月一日に至る輸出高より見るに一年の平均二三八  
一六八噸なり。本年一月以来の輸出高は三月に於ける一八、六一二噸より八月  
に於ける二六、二九七噸の範圍にあり八ヶ月の平均は二一、五一四噸なり。次  
表は政府當局の調査にかかるものなり。

●米國の鋼板輸出の状況  
常の増加を示せり。本年九月一

米國に於ける鋼板の輸出は最近に至り非  
至る輸出高より見るに一年の平均二三八  
高は三月に於ける一八、六一二噸より八月  
リ八ヶ月の平均は二一、五一四噸なり。次  
なり。

一ヶ月に付 總計	三、三四	三六八五	一九一六年六月末に至る會計年度
一九一五年	一〇、三六	一三、九四	一九一五年
一九一四年	一一、六二	一三、九九	一九一四年
一九一五年(自一月至三月)	一一、六四	一三、九五	一九一五年(自一月至三月)
一九一四年( 同 )	一一、六三	一三、九九	一九一四年( 同 )
一九一三年( 同 )	一一、六四	一三、九五	一九一三年( 同 )
一九一六年自一月至六月 八ヶ月間	一七、一七	三、五四	一九一六年自一月至六月 八ヶ月間
現在に於ける月平均高二二、五一四頓は戦前のレコードなる一九一三年の月平均一八、六五一頓を超ゆる事夥しきものあり。			
●機械類の輸出。七月中米國より輸出せる機械類	一九一六年七月に於ける機械類の輸出はその價格一八、九七一、五三弗に達し、一九一五年七月の一、四一二、六二三弗、一九一四年七月の八、〇六〇、六四一弗に對し七、八一四、六九一弗となれり、總ての種類の機械類積出高は本年七月迄七ヶ月間にて一二三、四〇六、九八三弗に上り、昨年の六七、九五九、八二二弗、一九一四年の七六、八三〇、四四四弗を凌駕する事遙かなり。	一九一六年七月に於ける機械類の輸出はその價格一八、九七一、五三弗に達し、一九一五年七月の一、四一二、六二三弗、一九一四年七月の八、〇六〇、六四一弗に對し七、八一四、六九一弗となれり、總ての種類の機械類積出高は本年七月迄七ヶ月間にて一二三、四〇六、九八三弗に上り、昨年の六七、九五九、八二二弗、一九一四年の七六、八三〇、四四四弗を凌駕する事遙かなり。	●機械類の輸出。七月中米國より輸出せる機械類
本年及昨年七月並に七ヶ月間の機械類輸出の詳細は左の如し。			

月平均一八、六五一頓を超ゆる事夥しきものあり。

●機械類の輸出。七月中米國より輸出せる機械類

●機械類の輸出。七月中米國より輸出せる機械類 一九一五年七月に於ける機械類の輸出はその價格一八、九七一、五二弗に達し、一九一四年七月の一、四一二、六二三弗、一九一四年七月の八、〇六〇、六四一弗に比し大なる増加ありしを見るべし。七月に於ける金屬工機械の積出高は昨年同月中の三、八七二、三五八弗、本年五月の最高記録たる九、九三五、八〇六弗に對し七、八一四、六九一弗となれり、總ての種類の機械類積出高は本年七月迄七ヶ月間にて一二三、四〇六、九八三弗に上り、昨年の六七、九五九、八二二弗、一九一四年の七六、八三〇、四四四弗を凌駕する事遙かなり。

本年及昨年七月並に七ヶ月間の機械類輸出の詳細は左の如し。

鐵  
と  
鋼  
第  
武  
年  
第  
拾  
壹  
號

一  
二  
三  
四

活版機械		風製材機械		其他機械及部分品		合計	
タイブライター	六三、四〇	車	二五、四〇	車	一九、六〇	計二四三、六三	一八〇、九〇
打字機	一九、五〇	機械	二〇、二〇	機械	二〇、九〇	打字機	一九、六〇
縫紉機	一九、六〇	他	一九、六〇	他	一九、六〇	縫紉機	一九、六〇
瓦斯機器	一九、六〇	空氣壓搾機械	一九、五〇	空氣壓搾機械	一九、五〇	瓦斯機器	一九、六〇
瓦斯機器	一九、六〇	釀造機械	一九、五〇	釀造機械	一九、五〇	瓦斯機器	一九、六〇
電線	一九、六〇	貨幣表記器	一九、五〇	貨幣表記器	一九、五〇	電線	一九、六〇
電線	一九、六〇	同上部分器	一九、五〇	同上部分器	一九、五〇	電線	一九、六〇
電昇	一九、六〇	綿織機	一九、五〇	綿織機	一九、五〇	電昇	一九、六〇
電昇	一九、六〇	クリーミ分離器	一九、五〇	クリーミ分離器	一九、五〇	電昇	一九、六〇
電昇	一九、六〇	瓦斯機關(定置)	一九、五〇	瓦斯機關(定置)	一九、五〇	電昇	一九、六〇
電昇	一九、六〇	ガソリン機關	一九、五〇	ガソリン機關	一九、五〇	電昇	一九、六〇
蒸汽機	一九、六〇	其他機關	一九、五〇	其他機關	一九、五〇	蒸汽機	一九、六〇
洗濯機	一九、六〇	同上部分器	一九、五〇	同上部分器	一九、五〇	洗濯機	一九、六〇
瓦斯及水量計	一九、六〇	同上部分品	一九、五〇	同上部分品	一九、五〇	瓦斯及水量計	一九、六〇
瓦斯及工具	一九、六〇	金屬工機械及工具	一九、五〇	金屬工機械及工具	一九、五〇	瓦斯及工具	一九、六〇
製粉機	一九、六〇	草刈機械	一九、五〇	草刈機械	一九、五〇	製粉機	一九、六〇

(一) 八月中獨逸に於ける銑鐵の產額 鐵鋼製造者協會の報告によれば八月中獨逸に於ける銑鐵の製產額は七月中の一、一三四、三〇六噸に對し一、一四五、二九二噸にして戰時中の新記錄を作れり。八月中毎日の產額は七月中の一日平均三六、五九〇噸に對し三六、九四五噸なり。八月中の產額を分類すれば次の如し。

○米國タンクスチーン鐵の輸出  
て表はるゝは異常の事に屬す。本年七月中のタンクスチーン鐵及びタンクスチーン金屬の輸出額は一四〇封度にして一月より七月迄七ヶ月間の總計は八四〇七封度となれり。七月中輸出高を價格にて表はす時は一五〇弗となり。本年八月一日迄の通計は一八、二五四弗に上れり。(The Iron Age, the Oct., 1916)

○輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正五年九月外國貿易  
月表中鐵及鋼に關するもの左表の如し)

第一 輸出貨物品別表

第二 輸入貨物品別表

外國產品	大正五年九月			大正五年累計			大正四年九月累計		
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量
鐵鑛(擔)	五五三、七五六	二〇三、五八	三、三二、三五六	一、二〇二、八三五	三、五一、四八三	一、三三、八八八			

外國產品

釘	類ドリッゲスパツキト	三、二九四、八二一	五、三一、三八一	四、〇三七、七〇五	四、〇四五、七〇五	五、三五、五〇四
鐵道建設材料(レール)	電線支柱同部分品並用架材	三二七、五〇六	三八、七八三	三〇七、六四〇	三一〇、三〇三	三六、四四四
家屋橋梁船舶等建設材料	鐵道車輛及部分品	一〇、九五四	六二、六六七	一〇、九五四	六二、六六七	六七、三九七
自動車及部分品	自轉車及部分品	一九、三三六	一〇、九五四	一九、三三六	一〇、九五四	四五、五五〇
汽船(船齡十年以下)(隻)	(其)他(隻)	三四、八〇八	一九、三三六	一九、三三六	一九、三三六	一三、七八六
同	汽罐同部分品及附屬品	一九九、二九三	一九九、二九三	一九九、二九三	一九九、二九三	一一、一四〇
フューエルエコノマイザー(斤)	鐵道機關車同炭水車	一七七、五三二	一九一、九八五	一七七、五三二	一九一、九八五	一三三、七八六
瓦斯石油熱氣機關	蒸氣機關及スチームタービン	三〇、〇九七	七九一、九八五	一九一、九八五	一九一、九八五	一八四〇、三三六
ウォーターラービン及ベルトン水車	瓦斯石油熱氣機關	三六、六四七	八〇、〇三九	八〇、〇三九	八〇、〇三九	五、三〇、〇六八
發電機電動機類	瓦斯石油熱氣機關	五七、三三二	一九、六六八	一九、六六八	一九、六六八	三九五、六五〇
縫衣機	瓦斯石油熱氣機關	三六、九四四	一五一、九一九	一五一、九一九	一五一、九一九	一四七、七六三
金屬工及木工機械	瓦斯石油熱氣機關	九〇、八九三	一五、二一〇	一五、二一〇	一五、二一〇	八〇、九九〇
紡機	瓦斯石油熱氣機關	二六五、二〇七	一三一、六一五	一三一、六一五	一三一、六一五	四三三、九四四
石炭コークス(石炭(礦))	瓦斯石油熱氣機關	四、三六、三〇三	二六四、四九四	二六四、四九四	二六四、四九四	一七一、九二五
八四〇、九六七	瓦斯石油熱氣機關	三三八、二五五	二一三九、〇八五	二一三九、〇八五	二一三九、〇八五	九五五、四五六
四、一九五、五	瓦斯石油熱氣機關	三三八、二五五	一四〇六、七六七	一四〇六、七六七	一四〇六、七六七	九五九、〇五五
四四七、三五三	瓦斯石油熱氣機關	一四〇九、一〇九	一三一〇、七六〇	一三一〇、七六〇	一三一〇、七六〇	三、二六〇、四二七

●大正五年八月中本邦鐵及重要金屬並炭坑產額表(農商務省鑛山局調)

鐵  
與  
鋼  
第  
貳  
年  
第  
拾  
壹  
號

一一、二三一  
四、五二一  
三、五九三  
一一、〇一八  
三、〇五八  
五、四九六  
一六、五九三  
一九、〇四九  
二五、〇四五  
二、五五五  
六、二八一  
二、一一七  
三、九三九  
九、九九一  
四、五九八  
二一、二〇六  
一〇、四四九  
六、〇九七  
二三、八六八  
六、〇九四  
八、〇三二  
二六、八一四  
六四、七六八  
四〇、四七一  
一七、五〇〇  
三六、〇七四  
一一、八六一  
二三、〇八四  
一八、八八三  
九、九九四  
六七、五八二

久 岩 木 芳 相 木 福 姪 新 宇 野 平 泉 三 旭 龜 高 高 大 中 方 三 下 芳 三 豆 鮎 上 忠 二 豊 峯  
島 第 岡 目 山 井 山 原 屋 二 谷 知 島 同 濱 尾 美 田 山 水 笠 山 田 松 隈 鶴 城 池 田 雄 野 田 田 田 隈 濱 國 地  
同 同 同 同 同 佐 賀 同

三七、九一四  
三五、五六七

米國鐵鋼協會調查

◎米國軌條產出高  
米國鐵鋼協會調查